

どんぐり通信

8月号

発行者 飯塚市庄内生活体験学校

幼児の野外生活体験活動支援

飯塚市庄内生活体験学校において行う野外活動は、観察や遊びの側面よりも働く体験、生産する体験の要素を主にしたものに なります。例えば、野菜を植えたり収穫したり、収穫した野菜を使って料理をしたりすることもあります。ヤギやウサギを飼っていますので観察や餌やりをします。

夏は、ヒノキ板で作ったそうめん流しや、冬は石焼きいもを作ったりします。秋には、すぐ近くの鳥羽公園で拾い集めた落葉で落ち葉プールをして遊びます。シイタケのコマ打ちを体験することもあります。幼児の輸送バスの確保が難しかったりする場合は、軽トラックでヤギを運んだり、石焼きいもの釜やヒノキのそうめん流し板を借りて自分たちの園で使うというような利用もしていただいております。

平成30年度 幼児の活動支援実績

月日	曜日	施設名	対象	人数	プログラム
4.25	水	庄内保育園	全員	40	遠足地（雨天のため）
5.21	月	庄内保育園	全員	38	タマネギ収穫体験
5.22	火	愛宕幼稚園	年長	86	タマネギ収穫体験
5.25	金	愛の光保育園	年長	21	タマネギ、ジャガイモ掘り
6.21	木	愛宕幼稚園	年少	88	サツマイモ苗植え体験
7.19.20	木金	ひまわり幼稚園	年長	65	お泊り保育
9.1	土	愛宕幼稚園	親子	63	親子共同体験事業、そうめん流し
9.5	水	愛宕幼稚園	年少	88	サツマイモの水やりと観察
11.3	土	愛宕幼稚園	親子	34	親子共同体験事業、ピザ焼き 落花生収穫
11.8	木	平恒保育所	全員	60	石焼きイモ、動物ふれあい
11.13	火	愛宕幼稚園	年少	88	サツマイモ掘り体験
11.20	火	愛の光保育園	年長	24	サツマイモ、落花生掘り体験
11.21	水	庄内子ども園	全員	154	ふれあい動物園
11.22	木	庄内保育園	全員	61	石焼きイモ出前講座
11.27	火	愛宕幼稚園	年中	83	タマネギ苗植え体験
12.1	土	愛宕幼稚園	親子	48	親子共同体験事業、タマネギ苗植え 石焼きイモ作り
12.4	火	ひまわり幼稚園	年長・中	96	焼き芋大会
2.5	火	愛宕幼稚園	年中	83	シイタケのコマ打ち体験
2.20	水	ひまわり幼稚園	年少	59	落ち葉プール、動物ふれあい
2.23	土	愛宕幼稚園	親子	77	親子共同体験事業、防災グッズの作り方、 竹まきパン作り
2.27	水	愛の光保育園	年長	21	シイタケのコマ打ち体験
3.5	火	庄内保育園	年長	38	シイタケのコマ打ち体験
計		22回		1415	

【幼児の野外生活体験活動支援・活動写真】



▲サツマイモ収穫の説明



▲たらいで軍手洗い



▲シイタケのコマ打ち



▲ヒノキのそうめん流し



▲落ち葉プール体験



▲ヤギとふれ合い



▲サツマイモの苗植え



生活体験合宿

6月、7月に実施した生活体験合宿の内容を表にしてまとめました。鳥羽公園の清掃や花壇作りなどを実施しました。

	日程	参加者数	体験活動
生活体験1班	6月8日～9日	14名	鳥羽公園の清掃、花壇の土作り
生活体験2班	6月15日～16日	19名	花壇作り（サルビア・百日草など） ジャガイモ収穫
生活体験3班	7月13日～14日	17名	玉ねぎ・ジャガイモの選別、漬物づくり

参加者の感想

お母さんやお父さんがこんなに大変なことをしていることをここに
来て学んで、今度は、自分が手伝って、お母さんやお父さんの苦勞
を減らすことをしたい。



館長コラム

この号では、幼児の野外における生活体験活動の支援を取り上げた。一覧表は昨年の実績である。2年前の6月に取り組みを始めた。活動のプログラム自体は数多いというわけではないが、どの活動も園児たちに歓迎されている。平成元年に開設された生活体験学校が全国の先頭を切って始めたのが通学合宿だったが、今現在、助走を終えて令和元年に取り組み始めたのが幼児の生活体験活動支援である。酷暑の続く今のリクエストは、そうめん流し板の貸し出しに集中しているが、秋が深まれば落ち葉プールに使うクヌギの葉を集める活動を開始する。サツマイモ掘りも始まる。生活体験学校が通学合宿の元祖と呼ばれていると同じように、後世、幼児の生活体験活動支援の元祖と呼ばれるような生活体験学校でありたい。

館長 正平 辰男

【問い合わせ先】

飯塚市庄内生活体験学校（指定管理者：NPOどんぐり）

〒820-0111 福岡県飯塚市有安958-1

TEL：0948-82-3188 FAX：0948-82-2780

mail：taiken.sch@oks.or.jp



HPのQRコード